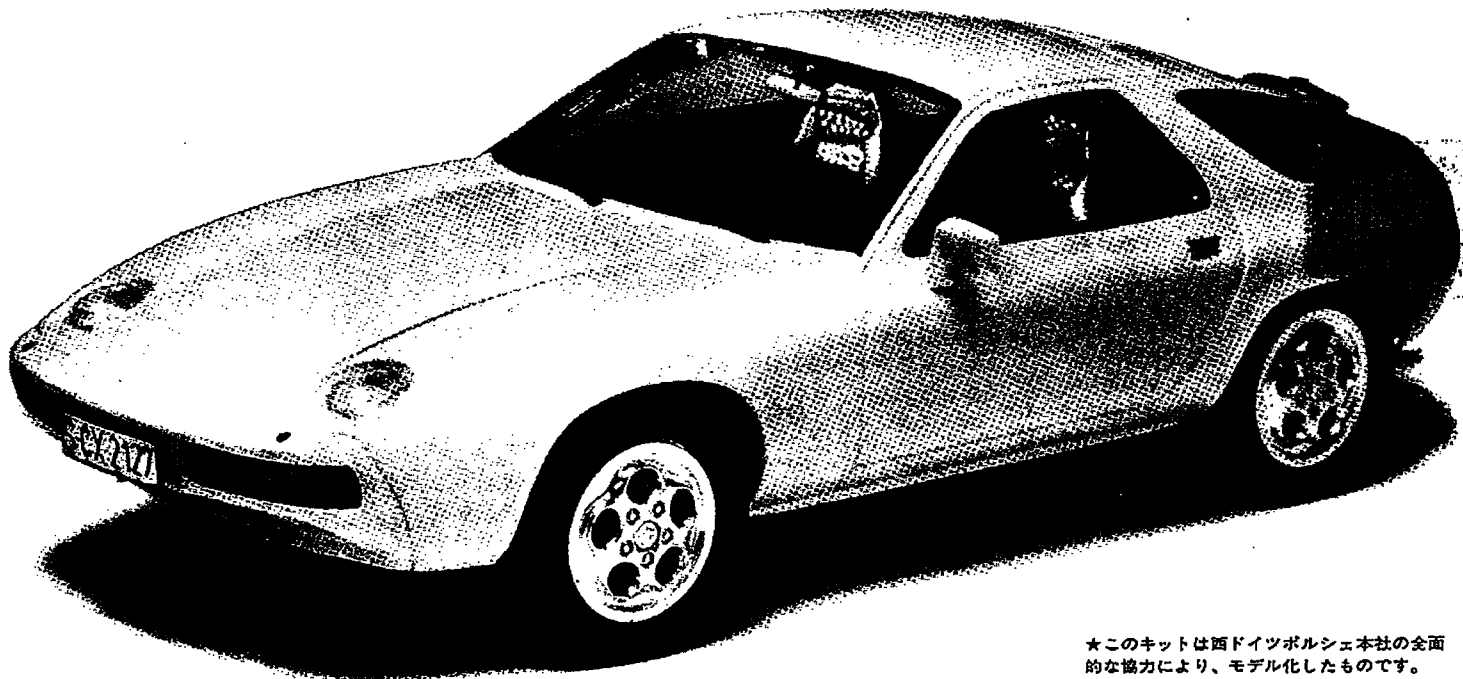


PORSCHE

928

1/20グランプリコレクションNO.3
ポルシェ928



★このキットは西ドイツポルシェ本社の全面的な協力により、モデル化したものです。

1977年3月10日、世界の自動車ファンの注目をあびて、1台のスポーツカーがデビューした。1963年に発表された911によって高性能スポーツカーメーカーとしての確固たる地位を築いたポルシェ社の意欲作、ポルシェ928である。それまで、ポルシェの代名詞となっていた空冷リヤエンジン方式に変わって、水冷90°V型8気筒エンジンをフロントに配置して話題を集めている。

ポルシェ928の開発が始められたのは911が順調に売り上げをのびしていた1971年末のことである。928の開発に先だってポルシェ主脳陣はこれからのスポーツカーはどうあるべきかという問題と取り組んだ。そして、ポルシェ首脳陣が導き出した答えはこれからのスポーツカーはただスピードが速いというだけでなく、安全性、経済性はもちろん、高い快適性も合わせ持たなければならないというものだった。

ポルシェ928の開発にあたってこれらの条件を満たすことが要求されたのはもちろん、さらに、各国で実施されている、あるいは今後課せられるであろう数々の規制にもパスできるものであることが要求されたのである。また、ポルシェである以上、高性能が絶対条件であることは言うまでもなかった。これらの種々の条件、要求を満たすためにポルシェ技術陣は4.5ℓ水冷90°V型8気筒エンジン、そして、エンジンとクラッチをフロントに、トランスミッションとデファレンシャルギアをリヤに配置するトランスアクスル方式を選択した。水冷エンジンは静かで完全なエアコンディショニングのきいた室内を実現するのに有利であり、大排気量になる程、空冷エンジンに較べてコンパクトに作る事ができる。そして、フロント配置は将来の騒音規制や、耐衝撃性についてリヤエンジン方式より有利と言える。しかも、前後の重量配分

を理想的な50対50にすることができるとトランスアクスル方式は、リアエンジン方式と同じようなすぐれた操縦性を生み出せる。一見、センセーショナルな928のレイアウトも数多くの要求を満足させるために最良の選択なのである。

ポルシェ928はほかにも注目すべき点を数多くもっている。リヤサスペンションのロアアームの取り付け方にくふうをこらした「バイザッハ・アクスル」と呼ばれるシステムもそのひとつである。普通の車はコーナリング途中で急にアクセルをもどすと内側へ巻き込まれたり、スピンしたりすることがあるが、「バイザッハ・アクスル」はコーナリング中のアクセル操作による操縦性の変化を修正するため、安全にコーナーを曲がりきることができる。またボディ形状と一体になった前後のバンパーは時速20kmのスピードで衝突してもその力を吸収してボディ・シャーシをいためないばかりか、元通り復元するすばらしいものである。さらに、エンジンははじめ、エンジンフードや左右のドア、フェンダーなどには、アルミニウムや軽合金がふんだんに使われている。これは車重を軽くするだけでなく、さびに強く、長年使用してもいたみが少ないなど、高い経済性の要求を満たすものでもある。スムーズで微妙な曲面で構成されているスタイルは流行に左右されず、空気力学的にもすぐれている。

スタートして100km/hに達するまで6.8秒というきわめてすぐれた加速性を持ち、安定した操縦性を示し、かつ静かで快適な居住性を合わせ持つポルシェ928は新しいタイプのスポーツカーと言える。

これら時代を先取りしたメカニズムの数々やクルマ作りの思想は1980年代になって改めて高い評価を得るに違いない。そして、911に次ぐポルシェの、世界の傑作スポーツカーとなることであろう。



作る前にならず
お読み下さい。

〈作る前にお読み下さい〉

このキットはモーターライズキットです。走る方はマブチFA-130と単Ⅲ乾電池が1本必要です。別にお求め下さい。

★組立てに入る前に、説明図を最後までよく見て、全体の流れをつかんで下さい。

★ニッパー、ピンセット、ナイフ等の工具を用意して下さい。接着剤はチューブ入りの接着剤を用意してあります。チューブ入り接着剤でもまにあいますが、きれいに仕上げるためピン入りの接着剤を用意すると便利です。タミヤからはたおれにくい四角いピンのタミヤセメントが発売されています。

これは塗装指示のマークです。全体の塗装と使用する塗料はP7のペインティングページを参考にして下さい。各部の塗装指示名はすべてパクトラタミヤの色名で指示してあります。色の正確なタミヤのカラーをご使用下さい。又ボディの塗装には簡単に塗れて、すばらしい仕上がりのスプレー式タミヤカラーが便利です。★塗料は、必ずプラスチックモデル用塗料をお使い下さい。

1 〈ピニオンギヤのとりつけ〉

モーターはFA-130を使用します。キットにはモーターは含まれていませんから、別にお買い求め下さい。

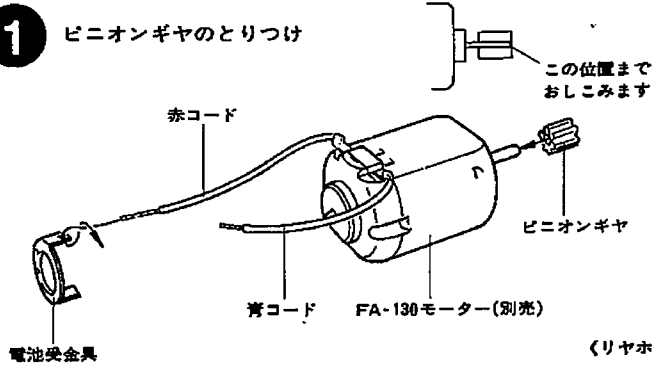
2 〈モーターのとりつけ〉

先にリヤホイールを組立てておきます。リヤホイールの組立て以外はすべてはめ込み式になっています。接着剤は使用しないで下さい。又電池受金具とスイッチ金具Aはさし込んで配線をしてから折りまげて固定して下さい。

3 〈スイッチのとりつけ〉

D5とスイッチ部品です。接着しないのでシャーシーにはめ込んで下さい。組立てが終わったら単Ⅲ電池をはめスイッチのテストをして下さい。

1 ピニオンギヤのとりつけ



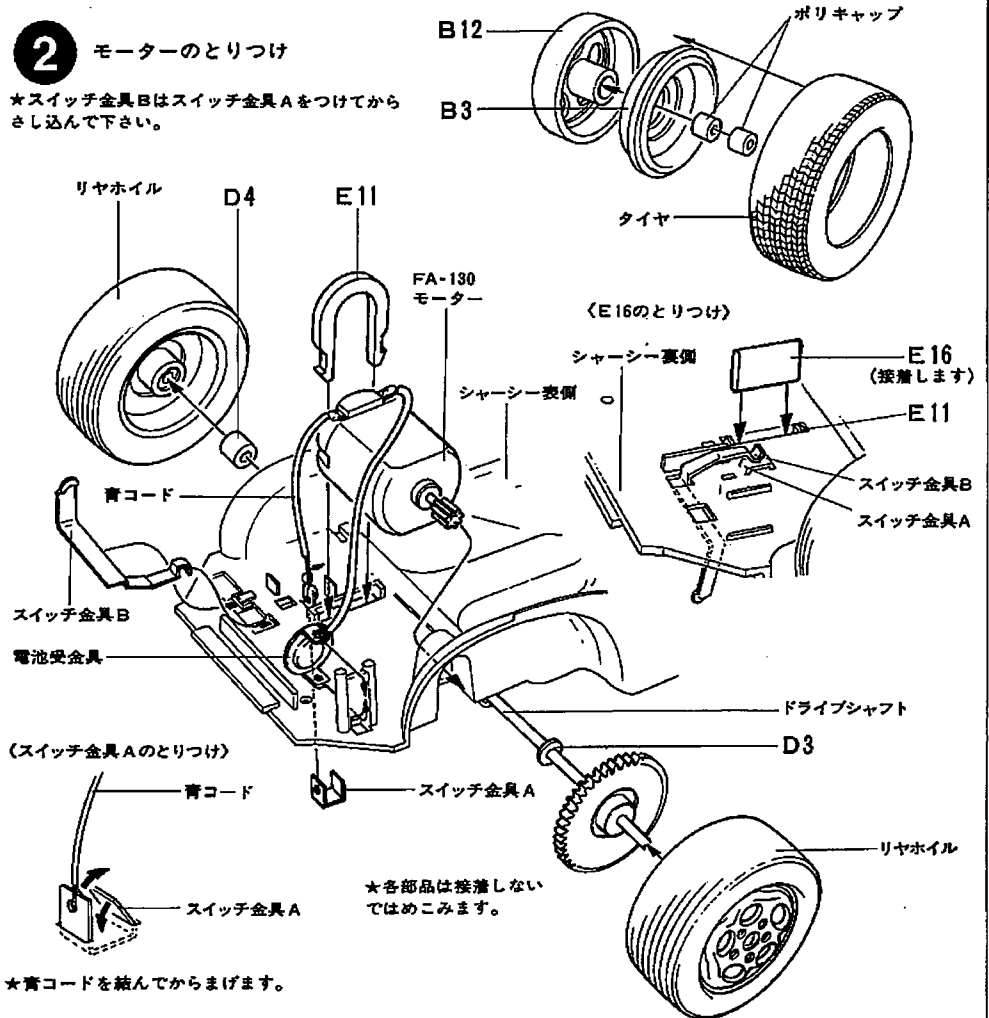
★モーターは別にお買い求め下さい。



〈リヤホイールのくみ込め〉 2個作ります

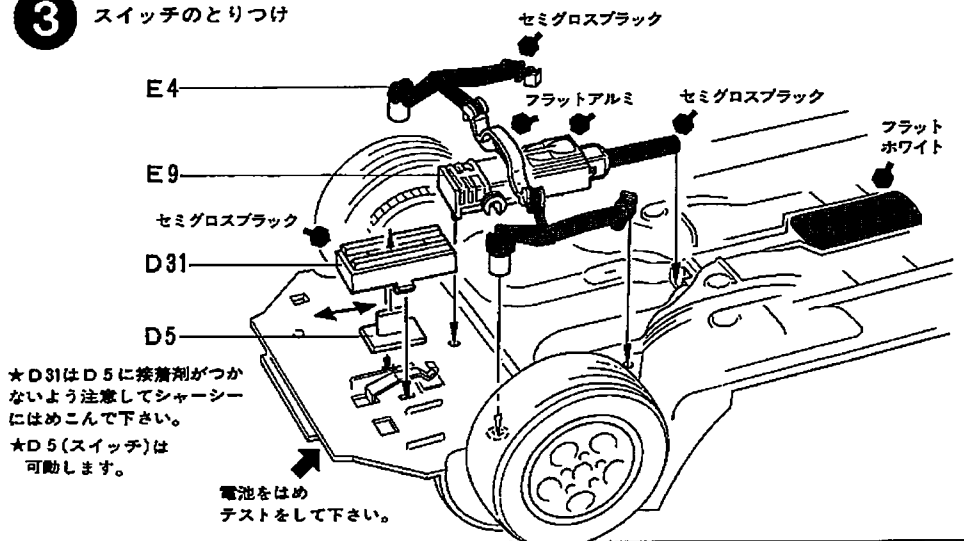
2 モーターのとりつけ

★スイッチ金具Bはスイッチ金具Aをつけてからさし込んで下さい。



★青コードを結んでからまげます。

3 スイッチのとりつけ



★D31はD5に接着剤がつかないように注意してシャーシーにはめ込んで下さい。

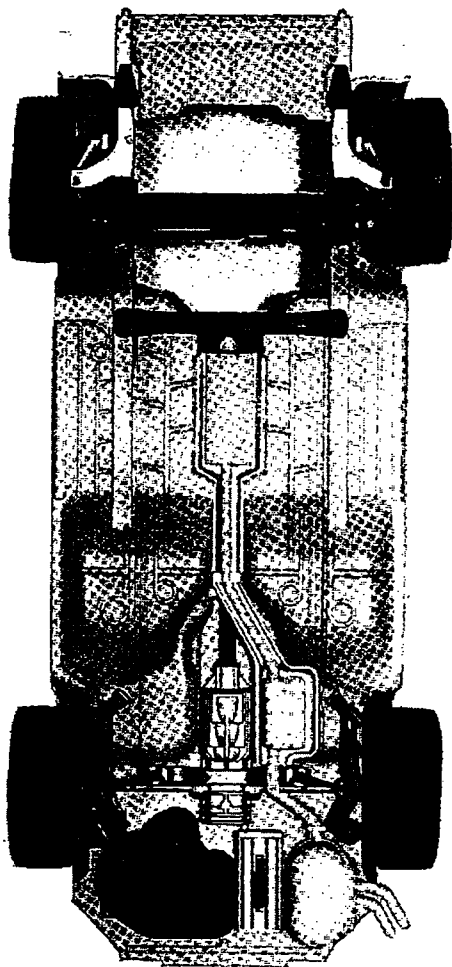
★D5(スイッチ)は可動します。

電池をはめテストをして下さい。

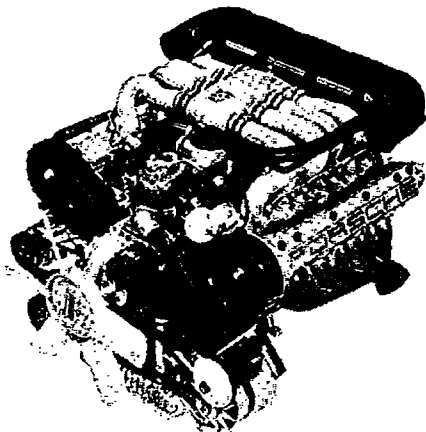
家庭用品品質表示法による発育用品表示
1. 幼児の手の届かないところに保存し、いたずらしない様注意して下さい。
2. 火気に注意し換気をよくして下さい。
3. 故意に吸わない様注意して下さい。
表示者 S Z.3000 S Z.3006 S Z.5013

4 〈シャーシー下側部品のとりつけ〉
D30は接着しません、D9をとりつけてからD30をさし込んでおきます。

5 〈フロントサスペンションのくみため〉
D7、D8は接着しません〈D7、D8のとりつけ〉を参考にとりつけて下さい。フロントホイールはD7、D8に2φビスでとりつけます。軽くまわるよう調節して2φビスをねじ込んで下さい。組み終わったらフロントホイールがまわるか、又ステアリングできるか確かめて下さい。

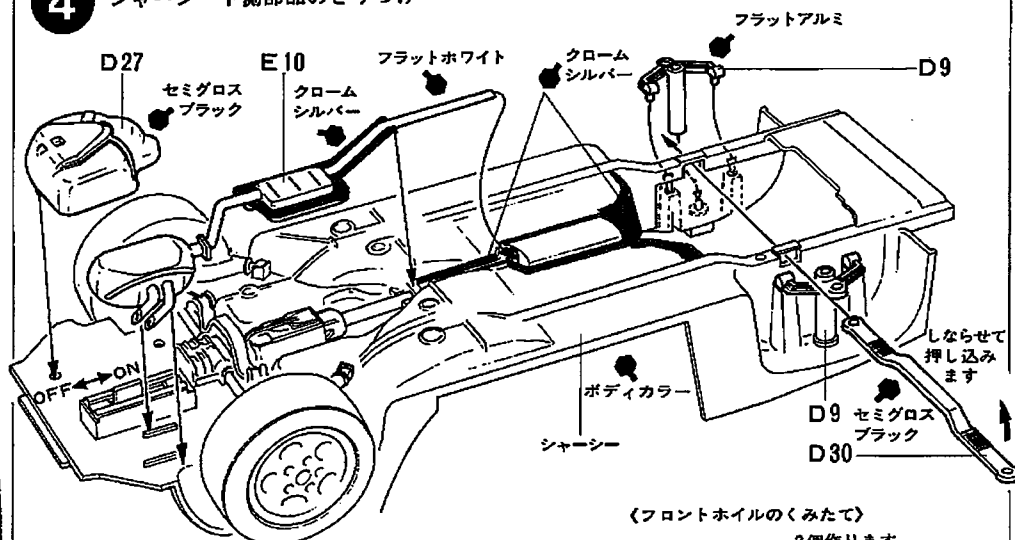


6 〈エンジンのくみため〉



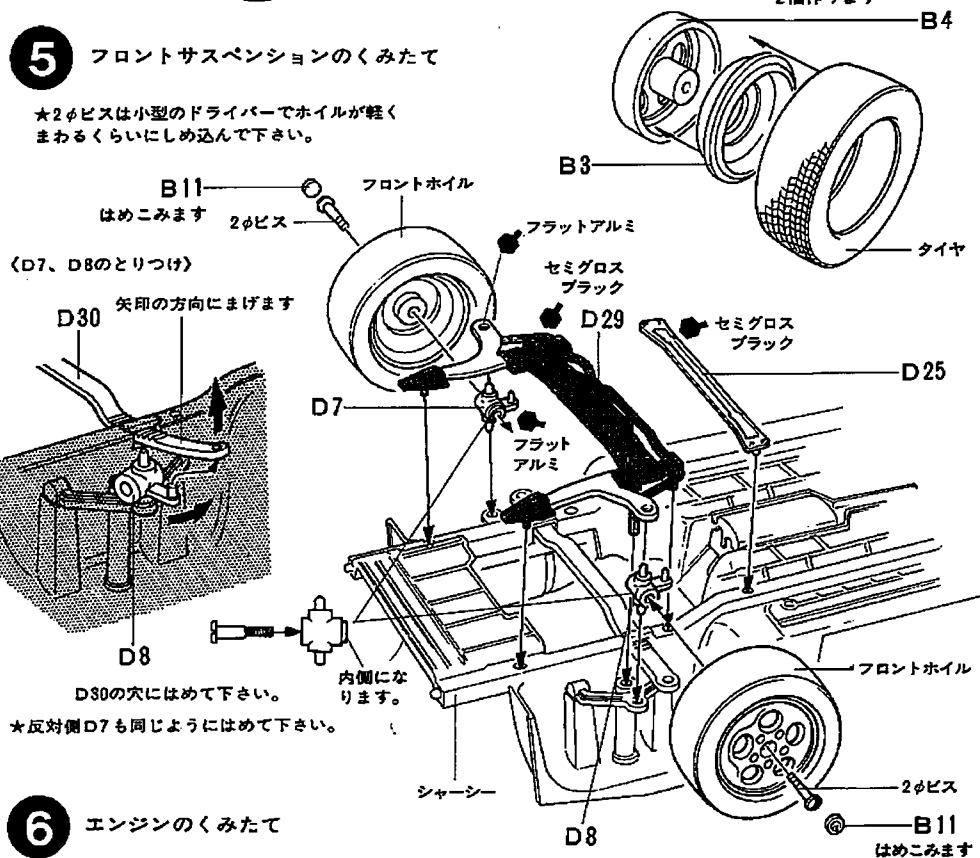
エンジン実車写真

4 シャーシー下側部品のとりつけ

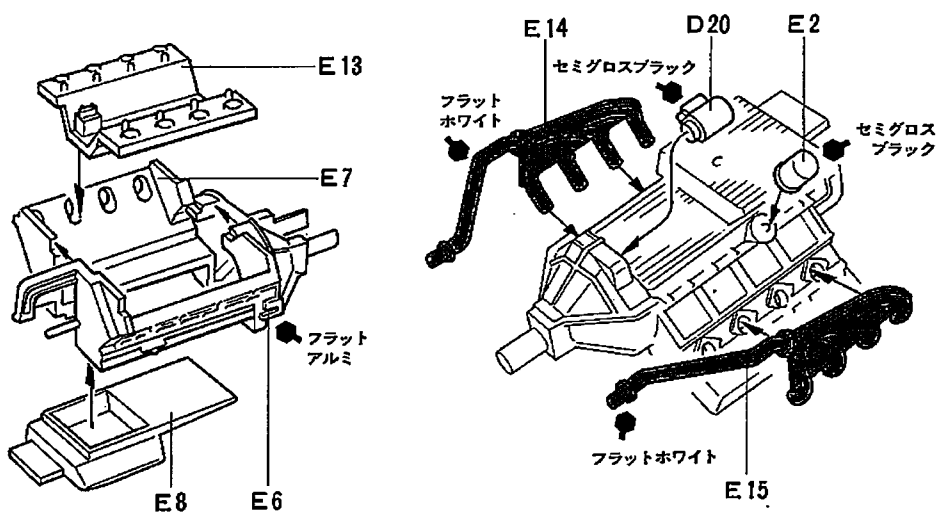


5 フロントサスペンションのくみため

★2φビスは小型のドライバーでホイールが軽くまわるくらいにしめて下さい。

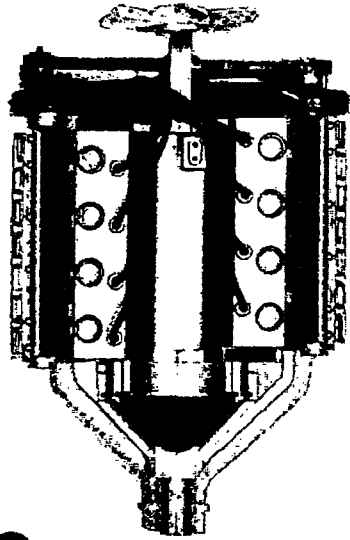
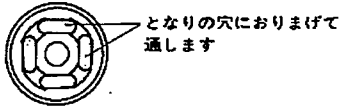


6 エンジンのくみため

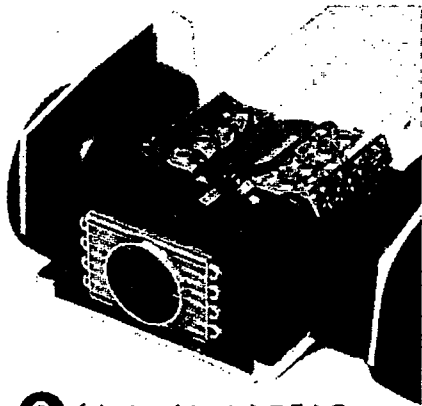


7 <エンジン部品のとりつけ>
 D19に黒コードを4本(10cm)に切りとりつけます。D13にとりつけ接着剤が完全に乾いてから配線して下さい。

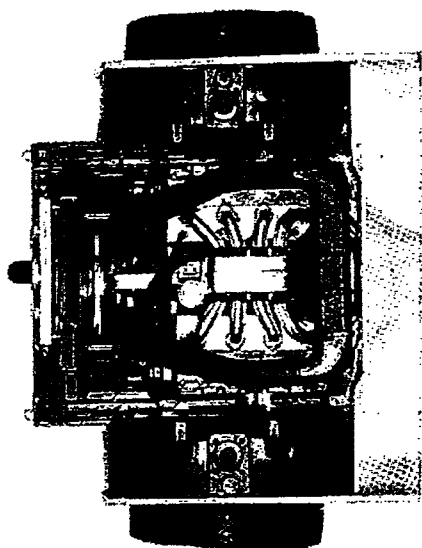
<コードのとりつけ>



8 <エンジンのとりつけ>



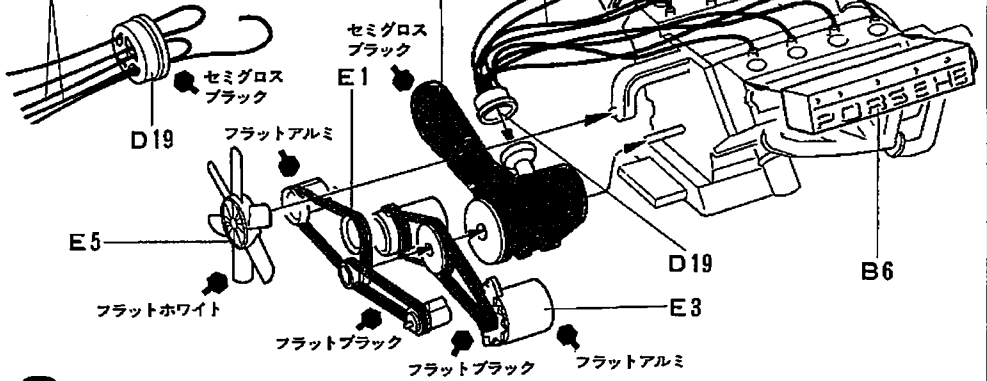
9 <インジェクションシステムのとりつけ>



7 エンジン部品のとりつけ

<コードのとりつけ>

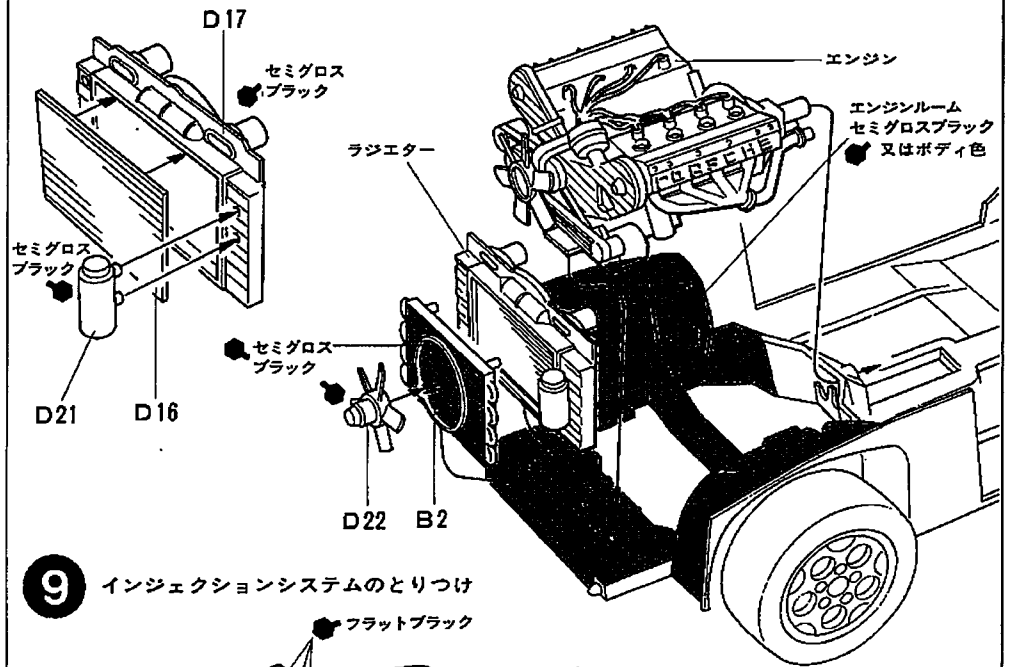
黒コード各10cm×4本



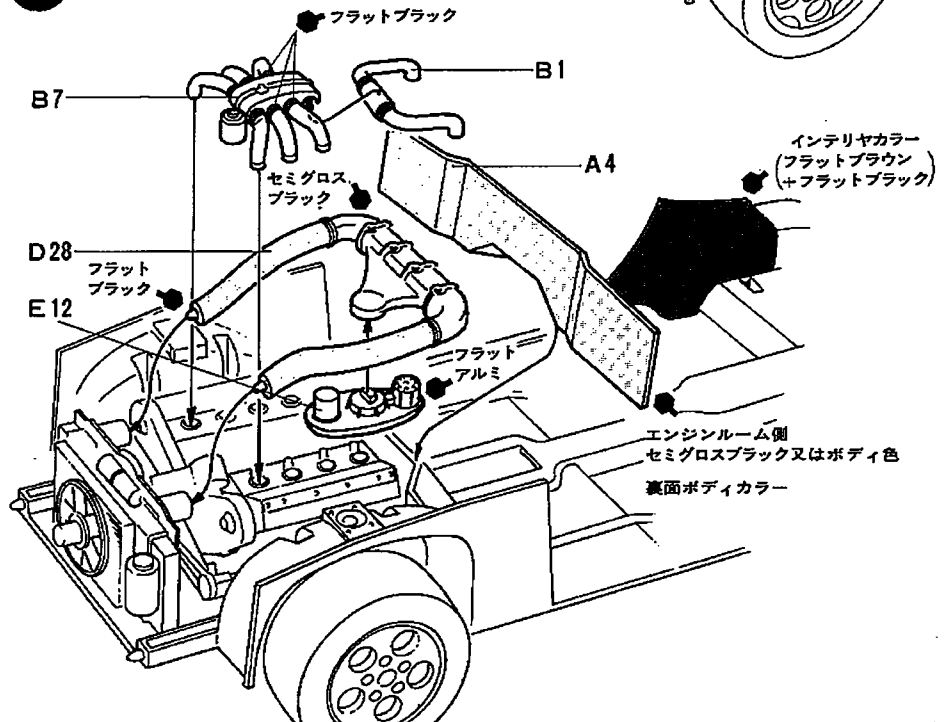
8 エンジンのとりつけ

<ラジエターのくみ込め>

★コードは各穴にあわせて切り、さし込んで下さい。

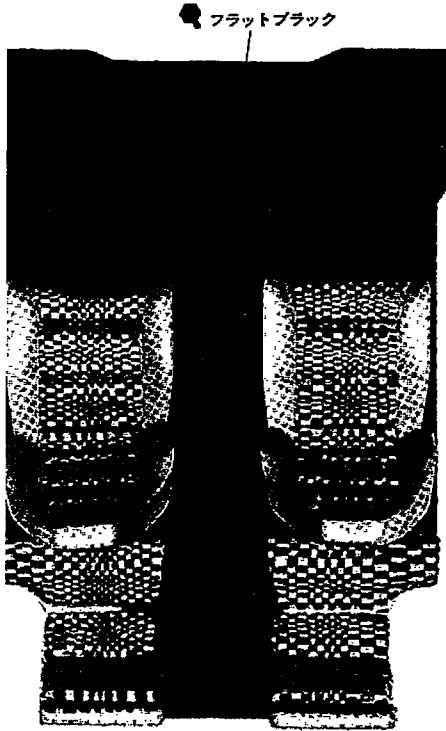


9 インジェクションシステムのとりつけ



10 <コックピット部品のくみため>
シートは2個組立えます。

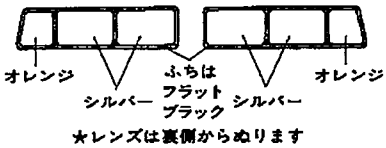
11 <コックピットのくみため>
★コックピットの塗装は箱絵を参照して下さい。



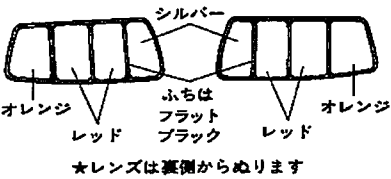
フラットブラック

12 <ウインドウのとりつけ>
透明部品は接着剤をつけると曇ります。1度仮組して接着部を確かめてから接着して下さい。

<フロントコンビネーションランプの塗装>



<リヤコンビネーションランプの塗装>



<ナンバープレートの塗装>



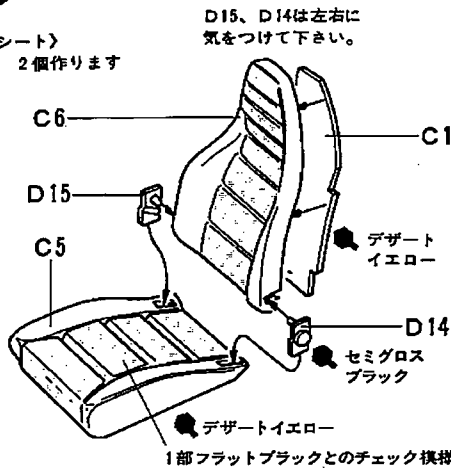
F6
接着しないで押し込みます。

A6

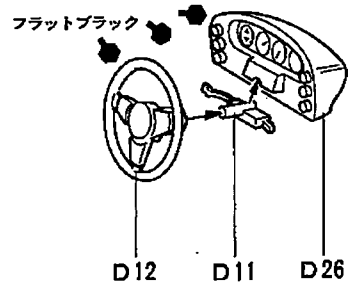
F7
接着しないで押し込みます。

10 コックピット部品のくみため

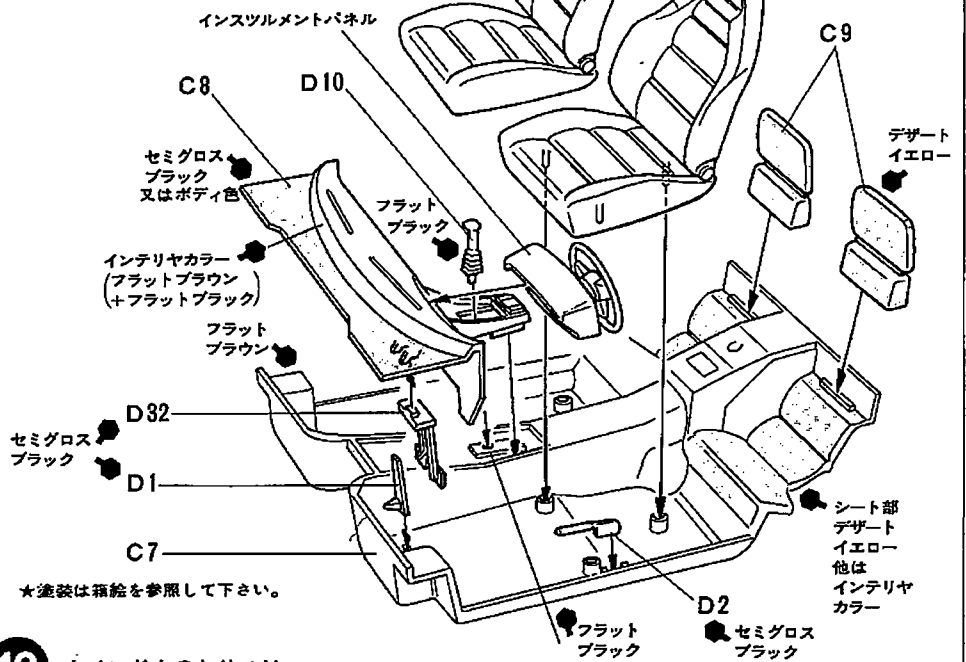
<シート>
2個作ります



<インストゥルメントパネル>

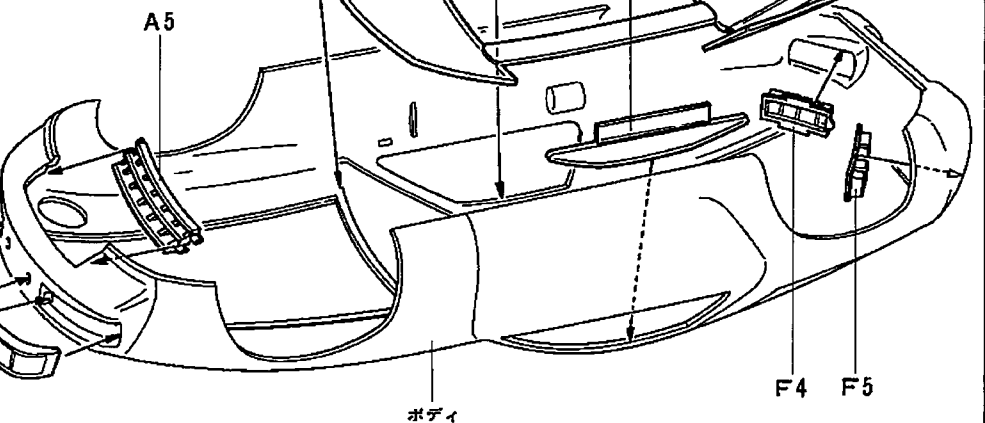


11 コックピットのくみため



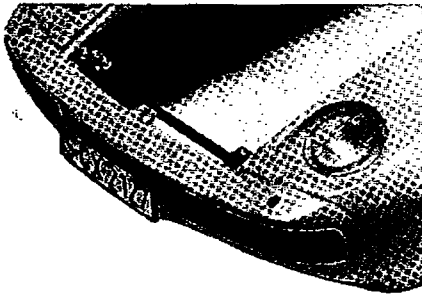
12 ウインドウのとりつけ

★点線部で切りとればウインドウを開くことができます。
<A5とりつけ図>

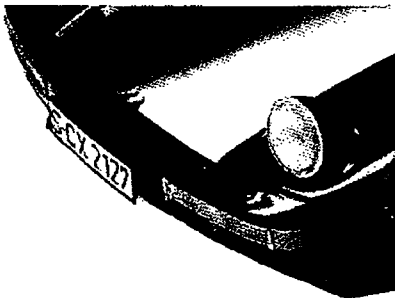


13 〈ボディ内側のくみたて〉
 ヘッドライトは使用時と格納時のどちらかが選べます。

〈格納時〉

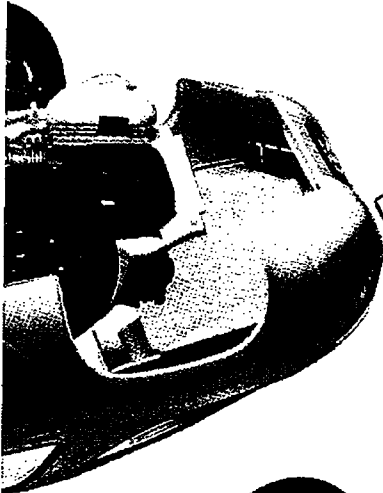


〈使用時〉

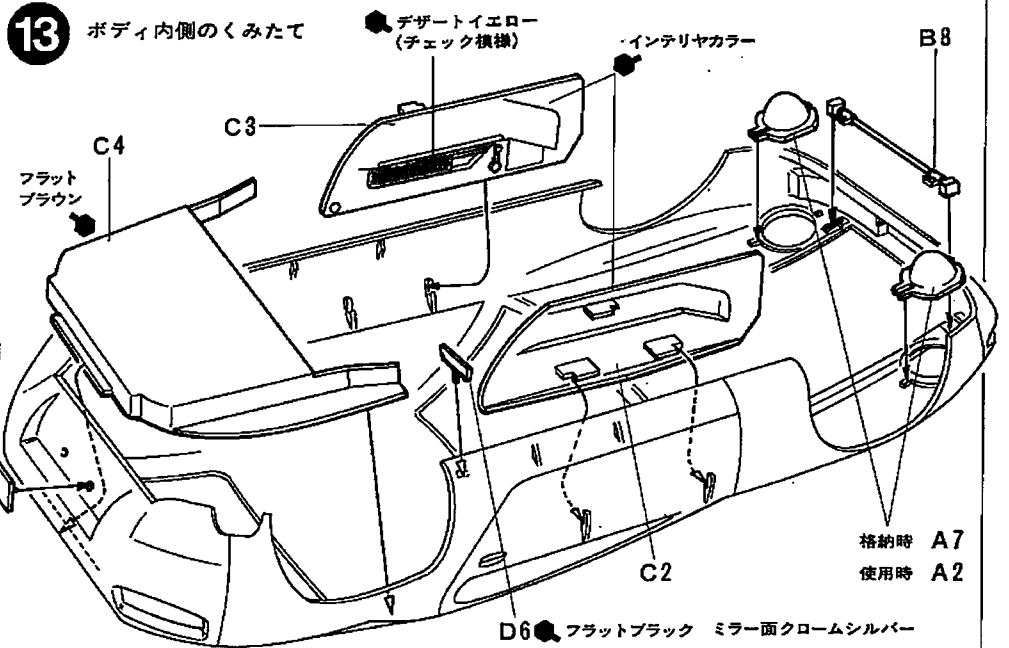
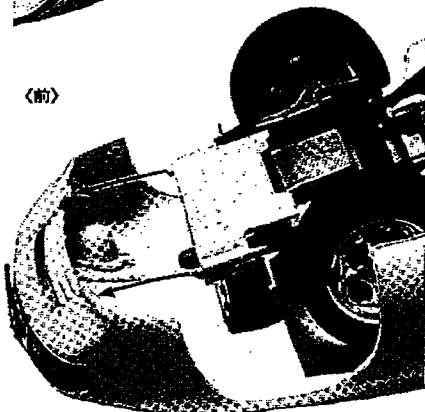


14 〈ボディのとりつけ〉
 下の写真を参考にボディをシャーシーにとりつけて下さい。電池の入れかえをする為にボディとシャーシーは接着しないでください。

〈後〉 シャーシーは後からはめて下さい。

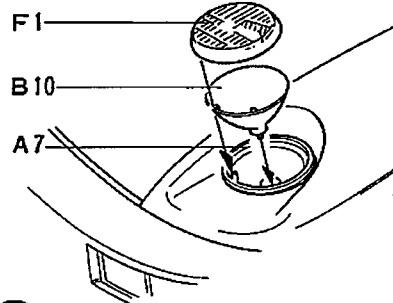


〈前〉

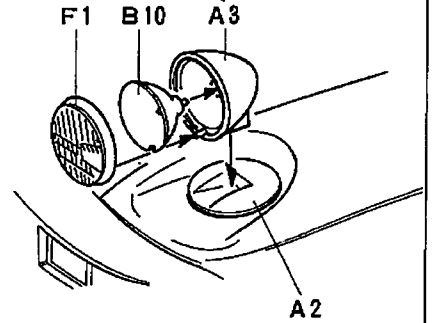


〈ヘッドライトのとりつけ〉

〈格納時〉 左右ともつけます



〈使用時〉 左右ともつけます

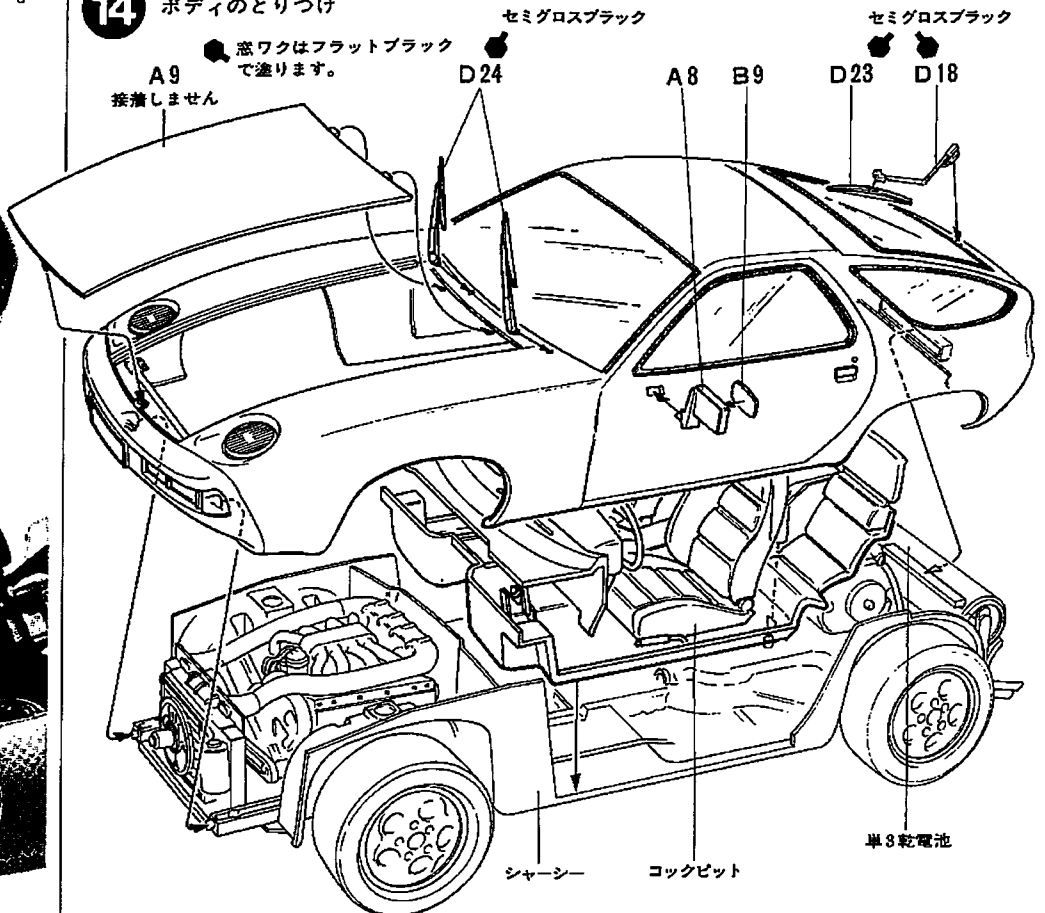


14 ボディのとりつけ

● 窓ワクはフラットブラックで塗ります。
 A9 接着しません

● セミグロスブラック

● セミグロスブラック



PAINTING

〈ポルシェ928の塗装〉

ポルシェの新しい2+2、ハッチバックのスポーツカー、ポルシェ928のボディカラーは、ホワイト、レッド、メタリックシルバー、濃いグリーン、そして、メタリックブルーなどが標準カラーとして用意されているようです。しかし、市販スポーツカーですから、自分の好きな色、気に入った色で塗装してみてください。ボディは全体が1色で塗装されており、バックミラーもボディと同色です。室内は茶系統の色で統一されていますが、ダッシュボード、コンソール、ドア内張りなど、それぞれ色合いが多少違っていますから、変化をつけて塗装してみてください。シートのオプティカルパターンのチェック模様は強いアクセントになっています。エンジン部をはじめ細部の塗装は組み立て図中に示してありますので参考して下さい。

〈使用する塗料〉

★タミヤからは手軽に使い、すばらしい仕上がりのスプレー式タミヤカラーと、筆塗りのエナメル塗料バクトラタミヤカラーが発売されています。細部の塗装はバクトラタミヤ、ボディの塗装にはタミヤカラーが適しています。各部の塗装指示はバクトラタミヤカラーで指示してあります。

スプレー式タミヤカラーより

スプレー式塗料はボディのように広い面積を塗るときに使用します。ポルシェ928のボディカラーとして次のスプレーカラー色をおすすめします。

- No.7.....レーシングホワイト
 - No.8.....イタリアンレッド
 - No.9.....ブリティッシュグリーン
 - No.15.....ブルー
 - No.17.....アルミシルバー
- 以上のカラーがポルシェ928のボディカラーに近い色ですが他のカラーであなたのオリジナルなボディを作ってみるのもよいでしょう。
- No.10.....フレンチブルー
 - No.11.....マルーン
 - No.12.....オレンジ
 - No.14.....ブラック
 - No.16.....イエロー
 - No.18.....メタリックレッド
 - No.19.....メタリックブルー
 - No.20.....メタリックグリーン

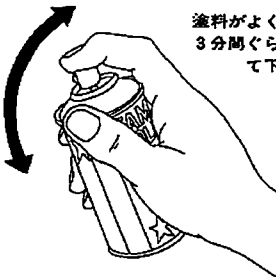
〈バクトラタミヤカラーより〉

- セミグロスブラック X-1+XF-1
ブラックとフラットブラックを1:1に混ぜて使用します。エンジンルームやエンジン部品に塗装された半つや消しの黒です。
- インテリアカラー XF-1+XF-9
フラットブラックとフラットブラウンを1:4に混ぜて使用します。内装のビニールレザー部分に塗ります。
- フラットブラック XF-1
窓枠等ゴムやプラスチック部品を塗ります。つや消しの黒です。
- フラットホワイト XF-2
マフラーを塗ります。エキゾーストパイプ等の焼けた感じを出すときはメタリックグレイを少々混ぜて塗ります。

- フラットブラウン XF-10
室内にはられたカーベットの色です。
- フラットアルミ XF-16
エンジン等アルミのブロックに塗ります。メタリックグレイを少しづつ混ぜて調子をつけてやると仕上がりがよくなります。
- デザートイエロー XF-59
シートを塗ります。928のシートは、クッション部分がブラックとのチェック模様になっています。
- オレンジ X-6
ウインカーを色つけします。
- レッド X-7
テールライト（ブレーキランプ）に塗ります。

〈エアゾールスプレーの使い方〉

新聞紙、ボール箱、部品の入っていたビニール袋、ポロ布、セロファンテープ等を用意して下さい。風のない日陰を選んで新聞紙をひきほこりのたたないようにしてから塗装します。スプレー缶を上下によく振って缶の中の



塗料がよくまざるように3分間ぐらい上下にふって下さい。

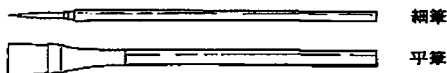
塗料をよくかきまぜてからためし吹きをしてください。塗装する部品から20cm位放して同じ方向にすばやく動かして下さい。塗装する部品より一回り大きめの部品を塗装する気持で吹きつけるのがコツです。
★エアゾールスプレーはカンに印刷された注意をよく読み正しい使い方をして下さい。火の気のある場所での塗装や長時間の塗装は絶対にしないようにして下さい。

〈塗装方法〉

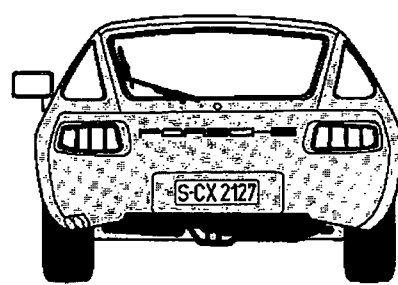
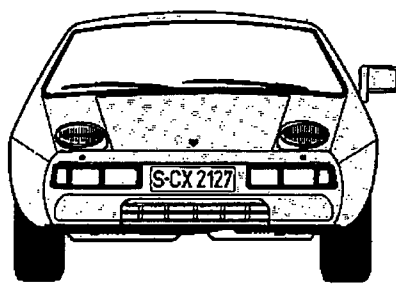
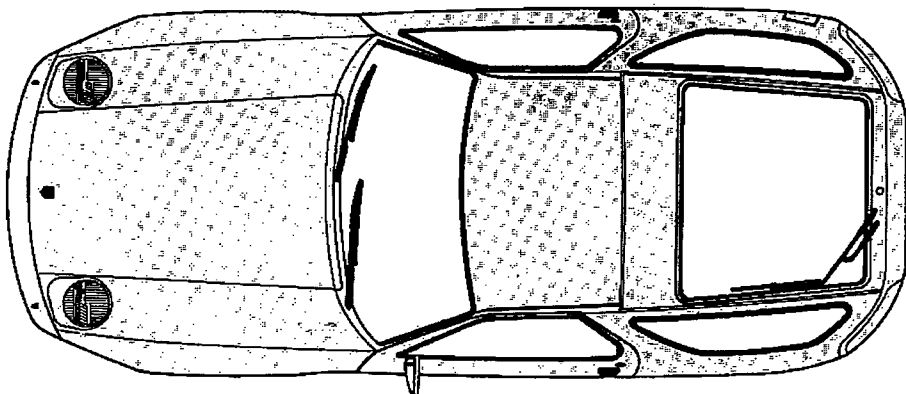
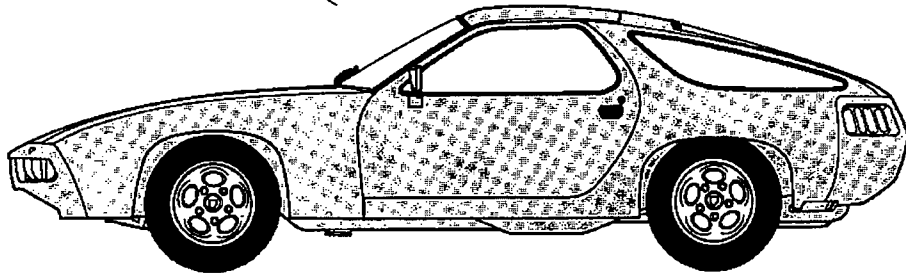
各部品は塗装する面のゴミや手の油、ほこり等をやわらかい布でふきとってから始めて下さい。接着剤のはみだしところはカッターナイフでけずり落し目の細かいサンドペーパーで直しておきます。同じ色の部品はなるべく組立ててから塗装します。もちろん組立ててから筆がとどかなくなる部分はあらかじめ塗装しておきます。

〈塗装用具〉

筆、ときざら、ポロ布を用意しましょう。溶剤は使用する塗料に指示されたものを使います。筆はデザイン用の筆を使います。細かい

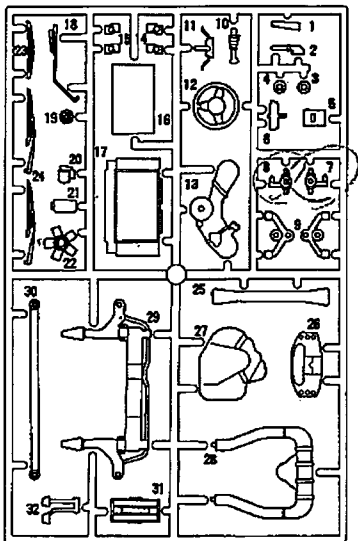


部分は細筆を、広い部分は平筆がよいでしょう。筆は使った後は必ずラッカーシンナーで塗料を落とし、水洗いしてから保存します。

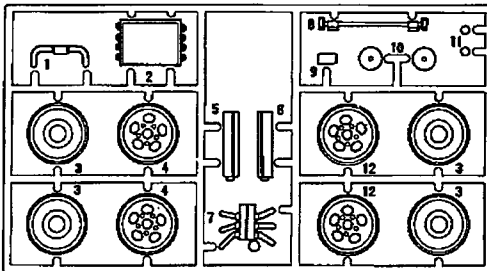


PARTS

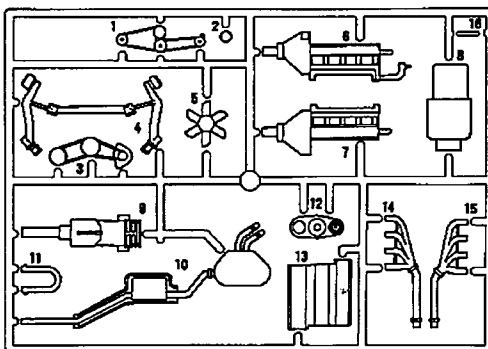
D 部品



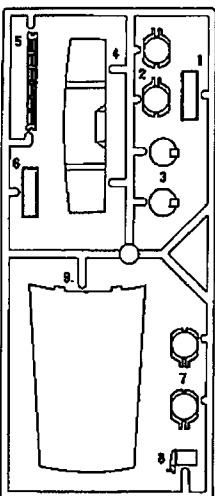
B 部品



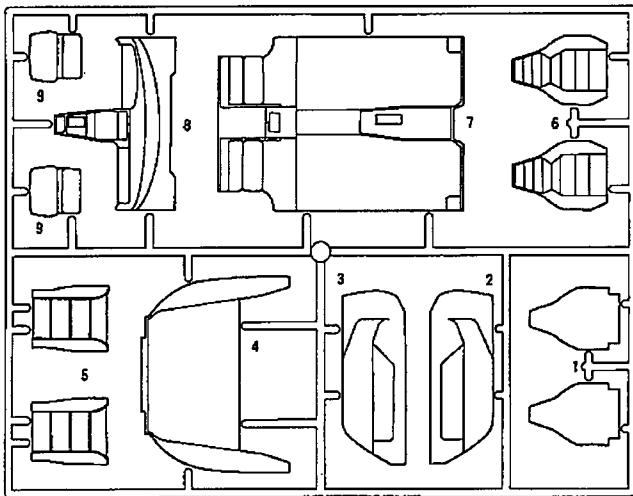
E 部品



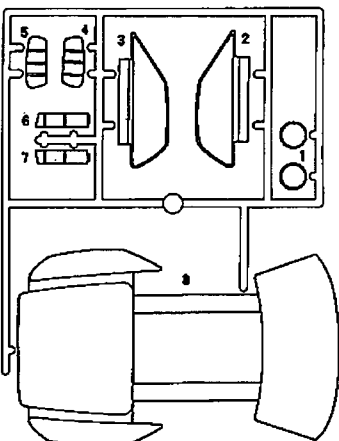
A 部品



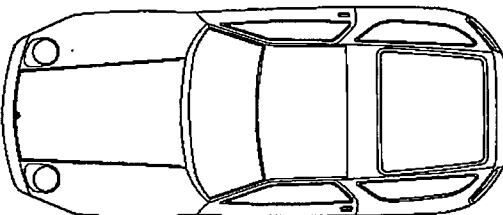
C 部品



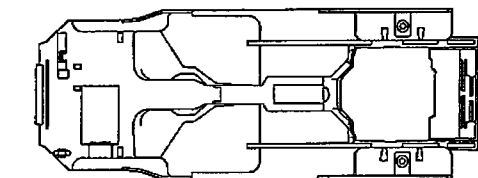
F 部品



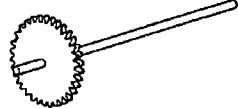
ボディ



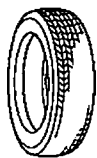
シャーシ



金具袋詰 ビニールコード 1本 タイヤ 4個
ドライブシャフト 1本



ポリキャップ



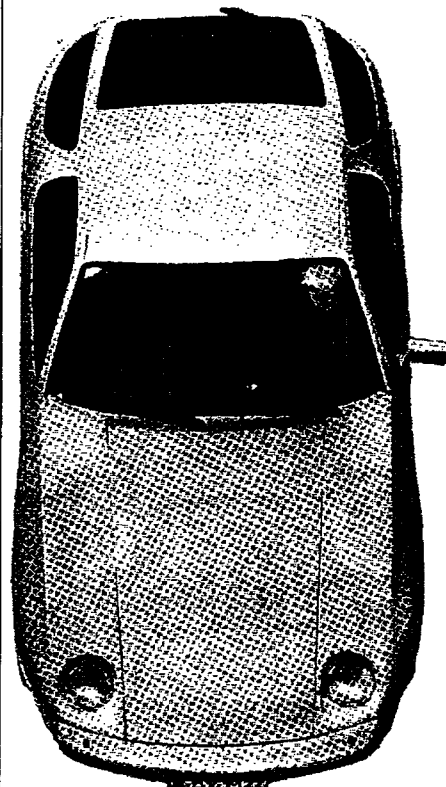
ビニオンギヤ 1個 電池受金具 1個 スイッチ金具A 1個



2φビス 2個



スイッチ金具B 1個



PACTRATAMIYA

パクトラタミヤ(筆塗り塗料)

アメリカ・パクトラ社との協力で作られたエナメル系塗料です。全60色。ノビがよくムラ、泡立ちが少なく、筆塗りに最適です。

TAMIYA COLOUR

タミヤカラー(スプレー式)

美しい塗装が手軽に楽しめるスプレー塗料です。ミリタリーモデル用としてカーモデル、一般工作用がそろっています。

TAMIYA CEMENT

★タミヤセメントは、たおれにくい四角いビン入り、容量も、40ml、とお徳用です。



★部品を請求される時は下のカードが必要ですが、部品請求をなさる方はあなたの氏名、住所、郵便番号(できれば電話番号)を1字づつはっきりとお書き下さい。



部品を紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸でかみ代金を現金書留又は定額替為で田宮模型企画部検査課迄お申し込み下さい。

| | |
|------------|------|
| A 部品 | 300円 |
| B 部品 | 350円 |
| C 部品 | 400円 |
| D 部品 | 380円 |
| E 部品 | 380円 |
| F 部品 | 350円 |
| ボディ | 400円 |
| シャーシ | 350円 |
| 金具袋詰(タイヤ付) | 250円 |

7708



静岡市小島628 千422